

# メディア掲載情報

媒体名	鉄鋼新聞
掲載号	
掲載日	2016年7月12日
掲載内容	カツデンアーキテック工場について



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。  
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。  
あらかじめご了承ください。



効率生産を重視

室内用スチール階段メーカーのカツデンアーキテック（本社・東京都台東区、社長・坂田清茂氏）は、埼玉県美里町に木部、団地の両工場を生産拠点にもつ。素材や製品にまつ機能分担を図る一方、市場環境の変化や将来的な需要動向を見据え、弾力的な顧客対応が可能な現場づくりにも着目する。両工場のつなぎ直近で塗装ラインを強化した木部工場を訪ね、高付加価値な製品供給と効率生産を追求する最新線の取り組みを見た。

（中野 裕介）

## カツデンアーキテック 木部工場

室内用スチール階段



が増加。旺盛な室内用スチール階段の引き合いで高稼働に続き、粉体塗装ラインを1階に延伸し、塗装の処理能力も両工場合わせて従来より向上した。総額約1億円を基とする。構内には環境対策の一環として、ある地政学的な事情を踏まえ、アルミ建材の生産に際して、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。

## アルミ建材の主力拠点

スチールと加工ライン 新增設

これまでアルミ建材が主力だった木部工場が、新たな加工ラインを増設し、アルミ建材の生産能力を大幅に向上させた。これは、アルミ建材の需要が増える中、アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。



## 団地工場と機能を分担

一連の取り組みを通じて、生産性を向上させる。木部、団地の両工場での獲得に向け、あらゆる水場が閉鎖された。粉体塗装の対応領域が大きく広がる。自社製品の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。

## 付加価値品の供給追求

これまでアルミ建材が主力だった木部工場が、新たな加工ラインを増設し、アルミ建材の生産能力を大幅に向上させた。これは、アルミ建材の需要が増える中、アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。アルミ建材の生産に際しては、鉄皮酸化の処理を手がけ、各工程で不要な廃棄物を発生させない。



構内物流にも工夫を凝らす

このほど導入した粉体塗装ライン

2階に常設する「ショールーム

つくる絶好の機会を提供する。